

# Concert GENESIS V



## コンサート ジェネシス(始原) V

### 伝統の進行形

古代エジプト-クアルテット-の復元楽器<委嘱作品>演奏  
雅楽楽器の可能性-カールハイツ シュトックハウゼン-「三つの断章」リヒトより/舞楽法会

ネクロポリス・テーベの壁画 約BC1420-1411



<アーチェド ハープ>

<リュート>

<アウロス>

<キターラ>

東京公演 2010年 **11月3日**(水・文化の日)

虎ノ門 **JTアートホール アフィニス**

105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル2F 03-5572-4945

PM**2:00**開演 (PM1:30開場)

入場料 <全席自由> 2,500円

京都公演 2010年 **11月12日**(金)

京都芸術劇場 **春秋座** 京都造形芸術大学内

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 Tel:075-791-9207

PM**7:00**開演 (PM6:30開場)

入場料 <全席自由> 一般 2,000円(当日2,500円) 学生/ユース(25歳以下)1,000円  
京都芸術劇場友の会 1,800円(当日2,300円) ※先行発売あり 年会費2,000円

#### プログラム

第1部 (東京・京都公演)

古代エジプト アーチェドハープ(弓形ハープ/カイロ博物館所蔵)の復元解説と委嘱作品演奏

<ネクロポリス・テーベの壁画 クアルテットの楽器>

解説: 木戸敏郎 作曲: 三輪真弘

演奏: 摩寿意英子(アーチェドハープ)西垣林太郎(リュート)中村仁美(アウロス)さかいいいしゅう(キターラ、歌)

第2部(東京公演)

雅楽の楽器のための「三つの断章」

作曲 カールハイツ・シュトックハウゼン

雅楽楽器: 龍笛・笙・箏・琵琶・箏・打物

演奏: 笠井聖秀・野津輝男・中村仁美・西垣林太郎・福永千恵子

第2部(京都公演)

舞楽法会

舞楽: 番舞(つかいまい) 聲明: 四箇法会

演奏: 天王寺楽所雅亮会(舞楽)

天台宗総本山比叡山延暦寺法儀音律研究部(聲明)

主催: 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 創造する伝統実行委員会

共催: 財団法人大原美術館 倉敷公演 12月3日 (金)

助成: 芸術文化振興基金

企画: 木戸敏郎 制作/プロデュース: 野原耕二

復元楽器製作協力: 鳳仙 宮本卯之助商店 スタジオノハラ 長野信濃町和田建設



# Concert GENESIS V



## コンサート ジェネシス <概要>

### ジェネシス

ジェネシスは始原ということ。単なる始まりではなく将来展開される基本となるもの、欧米では旧約聖書をジェネシスと呼んでいる。1970年代に国立劇場で始まり、90年代以降は日本や海外の諸都市で芸術家や音楽祭を巻き込みながら展開して来た30年に及ぶ音楽運動は、日本が主導して世界へ発信し続けているユニークな運動である。はじめは日本の音楽状況にとってやるべきことを、世界の中で日本にして初めてなし得ることを目指して多岐にわたっていたが、21世紀になって「コンサートジェネシス」と命名される一つの方向性に収斂されていく。今回の公演は東京・京都・倉敷とドイツ(ベルリン・ジュッセルドルフ他)の諸都市で、始原楽器(復元古代楽器)の演奏/シュトックハウゼン作曲 雅楽の楽器のための「三つの断章」及び聲明と舞楽による舞楽法会の三本の柱を各都市の事情等によって微妙にずれながらも共通のプログラムによる一連の公演である。

### 「三つの断章」

「雅楽の音はノイズだ」と規定するアカデミックな音楽概念への対抗手段として、雅楽の楽器のために調性音楽でなく全音列主義の作曲で1977年に国立劇場がシュトックハウゼンに委嘱・初演した「リヒト」は、聴衆からは歓迎されたが楽壇からは激しい反発を受けた。しかしヨーロッパでは洋楽器ヴァージョンで演奏されて大好評、姉妹編も作曲されて全曲一週間の大作に成長した。彼我の違いは興味深いテーマだが国立劇場ではタブーとして封印され、再演は禁止されて来た。時は21世紀、場所も京都芸術劇場春秋座で再演のチャンスを作り、目立たないように抜粋で、まず2006年に龍笛のソロ部分を、翌年は箏篋、その次は琵琶と箏のデュオと実績を重ねて2008年に組曲にまとめて「三つの断章」として初演、これをいよいよ東京で再演する。30年越しの弔い合戦のつもりで。更に来年2月ドイツでも。今ではモニュメンタルなこの曲が実は雅楽が抱える音の概念に端を発したものであることを世界に発信するためにも。

### 始原楽器

古代楽器の歴史性を消去し、ひたすら楽器に特化して復元した始原楽器による音楽運動は、あるイベント的な出来事から始まった。資料不足で復元考証が難航していた正倉院の箏篋(アングルハーブ)を、視点を180度転換して楽器を創作する視点に視座を移し、残材を構造力学の視点で検証することで或るパーツが必要なのに気づき、収蔵庫の中で迷子になっていたそのパーツを発見して1983年初めて復元に成功。以後この方法でルーブル美術館やカイロ博物館の古代エジプトのアングルハーブをはじめとする楽器を次々と復元した。調律は既存の調律を引用するのではなく、始原楽器を音響物理学的に解釈することによって音を引き出す方法をとった。演奏は調律を解釈して三輪眞弘氏が考案したアルゴリズムに準拠し、即ちこの音楽運動は始原楽器の情報量を集約することで成り立っている。今回はアーチェッドハーブ(カイロ博物館)を復元し、これまでの諸々と一括して紹介する。

### 舞楽法会

聲明と舞楽の形而上学的な仕組みが類似している部分を共通項にして重複させることで、二つの異なる音楽の情報量を一つのステージに集約して密度を二倍にした舞楽法会は、1978年国立劇場の舞台で誕生。以来国内外の催しに招聘されて回を重ね、オリジナルな創作曲も含む新しいジャンルとして成長。日本伝統音楽の現代の姿である。90年代以降、主に海外の音楽祭等を舞台に展開してきた舞楽法会は、しばしば予想だにしない形のステージや厳しい時間的制約に遭遇し、それら悪条件を克服するため編曲や演出を工夫せざるを得ないプロセスが逆に贅肉をそぎ落とし、本質を顕在化させる結果をもたらした。こうしてより洗練された舞台芸術に成長し、今も変貌し続けている進行形の伝統である。

木戸敏郎 (京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 主任研究員)

## チケット及びお問い合わせ

### 東京公演

チケット取り扱い<発売開始2010年9月6日(月)>  
創造する伝統実行委員会 03-3317-8640(平日10時~17時)  
<http://www.culturebox.jp>



### 東京公演会場

**JTアートホール アフィネス**  
105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル2F  
03-5572-4945  
地下鉄銀座線<虎ノ門>3番出口>徒歩4分  
地下鉄銀座線・南北線<溜池山王駅>9番出口>徒歩5分  
地下鉄日比谷線<千代田>丸の内線<霞ヶ関駅A13番>出口徒歩7分

お問合せ 創造する伝統実行委員会  
〒168-0063 東京都杉並区和泉3-62-18 303  
Tel:03-3317-8640 Fax:03-3317-8504

### 京都公演

チケット取り扱い<発売開始2010年9月17日(金)>  
京都芸術劇場チケットセンター 075-791-8240(平日10時~17時)  
劇場オンラインチケットストア ※要事前登録(無料)  
パソコンから <http://www.k-pac.org/>  
携帯電話から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>



京都芸術劇場モバイルサイト

### 京都公演会場 京都芸術劇場 春秋座

- JR「京都駅」より 市バス5系統 岩倉行「上終町京都造形芸大前」下車(約50分)
- 地下鉄「北大路駅」(北大路駅バスターミナル)より 市バス204系統循環「上終町京都造形芸大前」下車(約15分) (※地下鉄北大路駅へはJR京都駅より約15分)
- 京阪「出町柳駅」より 市バス 上終町3系統「上終町京都造形芸大前」行「上終町京都造形芸大前」下車(約15分)
- 阪山電車(京阪出町柳駅乗りかえ)茶山駅下車、徒歩約10分
- 阪急「河原町駅」より 市バス5系統 岩倉行「上終町京都造形芸大前」下車(約30分)
- 市バス上終町3系統 上終町京都造形芸大前行「上終町京都造形芸大前」下車(約30分)



お問合せ 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 Tel:075-791-9207